

事務事業調書

平成27年度

事業No	479	課	維持管理課	係	施設管理係	起案者	福田貴浩
						決裁者	山下孝
事務事業名	放置自転車対策事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 3 道路・交通 3 自転車 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		40-20-20		
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策				
				性質区分		市の内部事務事業		
根拠法令	有	安城市自転車等の放置防止に関する条例						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	一部委託	委託先		行政関連団体				
実施期間	開始	平成元年度		経過	26年目		終了	期間
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		駅前広場、道路等を通行するものが			~になる		安全で良好な通行機能を確保する。
事務事業の内容	自転車等の放置禁止区域において、公共の場所における自転車等の放置を防止することにより、通行機能を確保し、市民生活の安全を図るとともに良好な都市環境を保持します。また、処分対象となる自転車のうち、再利用可能な自転車についてリサイクル自転車取扱店へ無償譲渡し、再利用するリサイクル事業を行います。							
改善・対策の履歴	平成25年度に三河安城駅駐輪場整理員を1人増やし、新安城駅放置自転車指導員を1人減らしました。 平成25年度に放置自転車撤去用トラックを更新しました。 平成26年度に安城駅放置自転車指導員を1人減らしました。 平成26年度に自転車放置禁止区域路面表示を10箇所おしました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	23,644	24,372	25,499	25,408	25,616
財源計	19,234	20,277	18,569	18,478	18,686
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	219	229	197	200
	一般財源	19,015	20,048	18,281	18,486
受益者負担金	219	229	220	197	200
職員人件費 (従事職員数)	4,410 (0.70)	4,095 (0.65)	6,930 (1.10)	6,930 (1.10)	6,930 (1.10)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	放置自転車等指導員 及び施設管理委託	見込	20.00	20.00	20.00	19.00
			実績	20.00	20.00	19.00	
	指標名 (単位)	放置自転車等指導員 及び無料駐輪場整理 員(人)	活動の総事業費 (千円)	23,644	24,372	25,408	
			活動にかかるコスト (千円)	1,182.20	1,218.60	1,337.26	
活動2	活動名 (活動内容)	無料駐輪場施設設備改修	見込	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	施設設備改修(改修箇所)	活動の総事業費 (千円)	0	0	0	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	0.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	通行機能阻害による苦情件数(件)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	放置自転車移動台数(台)			目標	700.00	600.00	550.00	500.00
				実績	554.00	517.00	469.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	500.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	放置禁止区域での路上で、放置自転車が通行の障害となっている状態はほとんどありません。 無料駐輪場における整理員の自転車整理及び注意看板により、乱雑に駐車する自転車が減少しました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	放置自転車の移動台数の減少により、指導員を1人減らし、事業費を抑えました。
成果	継続した事業の実施により、放置自転車の移動台数は減少しました。 放置自転車が通行の障害となっているとの苦情はありません。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
放置自転車自体を減少させる啓蒙やPRIに積極的に取り組み、撤去等の業務の縮減に努めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	経年による活動により放置自転車が通行を阻害している状態は少なくなりましたが、少数の放置自転車が多く、放置自転車を誘発し、原状へ復帰させるのに多くの労力と期間を要することから、継続して事業を実施してゆく必要があります。